

環境シンポジウム 8月31日 土 参加無料 どなたでもご参加いただけます。

【会場】象潟公民館

15:45～16:00 **開会式**

16:00～16:40 **基調講演**

「極地から地球がみえる」中山 由美（朝日新聞社会部記者）

16:40～17:10 **トークセッション**

「鳥海山のつながり」

パネリスト



中山 由美
Yumi Nakayama
朝日新聞社会部記者

地球環境を探る“極地記者”。第45次隊では女性記者で初めて日本の南極地域観測隊に同行し越冬。第51次隊でセールロンターネ山地の氷上で40日間暮らし、報道で初めて隕石探査取材したの取材に成功。北極・グリーンランドは2008年夏の米国観測チームに同行、12・14・17年は日本の研究者による氷河や海水の観測、15年はエスキモーの大ぞり猟に同行取材し、16年にはノルウェー北部のスヴァールバル諸島などを取材した。外報部時代に、9・11同時多発テロ実行犯の生涯を追った「テロリストの軌跡」で新聞協会賞を受賞。



辰野 勇
Isamu Tatsuno
SEA TO SUMMIT® 連絡協議会理事長
モンベルグループ代表

1947年大阪府生まれ。1975年に株式会社モンベルを創業、現在代表取締役会長。アイガー北壁日本人第2登、カヤックでの黒部川源流～河口までの初下降など、数々の記録を持つ冒険家でもある。身障者カヌー大会「パラマウント・チャレンジカヌー」の開催や、阪神淡路大震災、東日本大震災時の「アウトドア義援隊」結成など、社会活動、災害支援活動などに力を注ぐ。山岳雑誌「岳人」編集長を務める。

モデレーター



安藤 伸一
Shinichi Ando
秋田魁新報社
デジタル部長

1969年秋田市生まれ。青山学院大学で山岳部に入り、長期休暇のほとんどを南北アルプスで過ごす。米国留学中にコロラド・ロッキーを縦走、ヨセミテ渓谷でロッククライミング。1996年秋田魁新報記者となり、環境問題や農林漁業を取材。趣味で始めたスキューバダイビングを仕事に生かし、ハタハタの群れや戸賀湾に沈む北前船のいかりを水中撮影。第51次南極観測隊に同行した際は、湖沼の潜水観測に参加。「コケボウス」と呼ばれる貴重な生物を水中撮影した。2018年からデジタル部長としてウェブサイト「秋田魁新報電子版」の編集に携わる。

17:15～18:00 **大会説明**

会場案内・アクセス

大会受付・開会式・環境シンポジウム

【会場】象潟公民館

秋田県遊佐町にかほ市象潟町字狐森31-1 【TEL】0184-43-2229

- ・山形自動車道・酒田みなとICより国道7号線を秋田方面に約32km
- ・日本海東北自動車道・象潟ICから約1.6km
- ・JR象潟駅から徒歩約15分



大会スタート地点

【会場】西浜海岸

閉会式・抽選会

【会場】鳥海温泉 遊楽里（鳥海文化ホール）

山形県遊佐町吹浦字西浜2-76 【TEL】0234-77-3711

- ・庄内空港から国道112号線、国道7号線を秋田方面へ約35km
- ・山形自動車道・酒田みなとICから国道7号線を秋田方面へ約15km
- ・日本海東北自動車道・象潟ICから仁賀保本荘道路、国道7号線を酒田方面へ約20km
- ・JR吹浦駅から約1km



【お問い合わせ】

SEA TO SUMMIT® 連絡協議会 事務局（株式会社モンベル 広報部内）
TEL 06-7670-3186 FAX 06-6531-5536 〒550-0013 大阪市西区新町2-2-2

オフィシャルウェブサイト

<https://www.seatosummit.jp/>

全大会でもっとも過酷なコース

SEA TO SUMMIT® の全大会の中でも一番のハードコース。その標高差はなんと2160m！ 大自然の中で、自分の限界に挑戦してみたい方はぜひご参加を。高山植物や日本海の絶景も楽しめます。

2019 SEA TO SUMMIT®

環境スポーツイベント シー トゥー サミット®

8/31・9/1

SAT

SUN

山形県
秋田県

鳥海山

山形県・秋田県 鳥海国定公園（モンベルフレンドマウンテン鳥海山）

大会プログラム



KAYAK 4 km

BIKE 21 km

HIKE 7 km

主催／鳥海山SEA TO SUMMIT® 実行委員会（事務局:NPO法人元気王国）共催／山形県

後援／観光庁・スポーツ庁・環境省東北地方環境事務所・秋田県・山形県教育委員会・遊佐町・にかほ市・由利本荘市・酒田市・NPO法人遊佐鳥海観光協会・にかほ市スポーツイベント開催実行委員会・にかほ市観光協会・（一社）酒田観光物産協会・由利本荘市観光協会・鳥海山大物忌神社・山形新聞・山形放送・（株）秋田魁新報社・（株）河北新報社・鳥海山飛鳥ジオパーク推進協議会・ジャパンエコトラック推進協議会

オフィシャルウェブサイト

<https://www.seatosummit.jp/>

※「SEA TO SUMMIT / シートゥーサミット」は株式会社モンベルの登録商標です。



鳥海山 SEA TO SUMMIT®2019 大会に寄せて



SEA TO SUMMIT®
連絡協議会理事長
モンベルグループ代表
辰野 勇

「鳥海山 SEA TO SUMMIT®」はご参加される選手やサポーター、地元秋田県・山形県の皆様の協力のもとに第9回目を開催する運びとなりました。

鳥海山の美しい自然のもと、全国からアウトドアスポーツを愛好する人々が集います。1日目の環境シンポジウムに始まり、2日目は日本海からスタートして、それぞれのペースで自然の循環を肌で感じながら、カヤック・自転車・登山で鳥海山の頂上を目指します。

自然の循環を感じる環境スポーツイベントとして始まった「SEA TO SUMMIT®」。そのコンセプトを元に、365日いつでも快適な旅やアクティビティを楽しめるエコツーリズムの取組み「ジャパンエコトラック」も各地で始まっています。「SEA TO SUMMIT®」にご参加いただいた後にも、ぜひまたこの鳥海山を訪れていただき、四季折々の魅力を感じていただきたいと思います。

海・里・山―――。

「SEA TO SUMMIT®」は人力だけで海から頂上を目指し、大自然を全身で感じながら汗をかき、人と自然のかかわり方の在るべき姿を改めて考える大会です。そんな時間を皆さんと共有したいと思います。



鳥海山 SEA TO SUMMIT®
実行委員長
NPO法人 元氣王国 理事長
佐藤 香奈子

第9回目を迎える「鳥海山 SEA TO SUMMIT®」。たくさんの方々に支えていただき、今年も開催できますこと、心より感謝申し上げます。

また、参加してくださる皆さん、日本海からそびえる名峰鳥海山へ、ようこそいらっしゃいました。海拔0から標高2236mまでの過酷ながらも魅力にあふれたコースを、自分の力で、仲間と楽しく、どうぞ最後まで堪能してください。

昨年は天候不順によりイベントはすべて中止という判断をいたしました。とても残念でしたが、「大自然の中で私たちは遊ばせてもらっているんだ」ということを、改めて感じることができました。今年の神様は、どんな判断をしてくださるのでしょうか。とても楽しみです。

最後になりましたが、本大会開催に当たりご協力くださいましたボランティアの皆様、遊佐町、にかほ市、酒田市、由利本荘市の皆様、いつも励ましの言葉をくれる全国の仲間、本当にありがとうございます。今年も皆さんと一緒に楽しみます！



秋田県知事
佐竹 敬久

「鳥海山 SEA TO SUMMIT®」が盛大に開催されることを心よりお喜び申し上げますとともに、全国からお越しいただいた皆様を、心より歓迎申し上げます。

本大会の舞台となります鳥海山は、2236メートルの標高がありながら、海岸線から山頂までわずか16キロメートルという類を見ない地形を有する山であり、その秀麗な姿と豊かな自然の恵みは秋田県・山形県共有の財産であります。

秋田県では、県内の豊かな自然景観や歴史・文化をはじめ、スポーツ大会の誘致などを通じた交流人口の拡大に取り組んでいるところであり、こうした中、地域の特色ある地形を存分に活用し、カヤック、自転車、登山により自然の循環を体感し、人と自然の共生について考える本大会が開催されることは大変意義深いと考えております。

本大会は全国13大会の中で最も過酷なコースとのことです。選手の皆様には、「あきたこまち」に代表されるお米、全国的に有名な日本酒や、由利牛など数多くの「秋田のうまいもの」で英気を養い、果敢に挑戦していただきたいと思います。

結びに、本大会の開催に当たり御尽力いただいた実行委員会及び関係団体の皆様に深く感謝申し上げますとともに、選手の皆様の御健闘をお祈りし、歓迎の挨拶といたします。



山形県知事
吉村 美栄子

「鳥海山 SEA TO SUMMIT®」が盛大に開催されますことにお祝いを申し上げますとともに、全国各地からお越しいただいた皆様を心から歓迎いたします。

日本百名山に名を連ねる秀峰「鳥海山」は四季の彩りも鮮やかで、出羽富士とも呼ばれ、山形県と秋田県にまたがる両県の貴重な山岳観光資源です。選手の皆様には、広大な日本海から続く美しい大地を駆け抜け、鳥海山山頂に至る雄大なコースを通して、豊かな自然を全身で体感していただくとともに、自然と人との共生を考える機会としていただければ幸いです。

山形県では、今年10月から12月にかけて、「日本海美食旅（ガストロノミー）」をテーマとした「新潟県・庄内エリアデスティネーションキャンペーン」が開催されます。国内外に日本酒・ワイン、米や果物、牛肉・豚肉等の山形が誇る「美食・美酒」をPRしながら、「庄内地域」や「鳥海山」の情報を発信し、魅力ある観光地域づくりを進めてまいります。

本大会を契機に、皆様にも山形県や環鳥海地域の魅力を存分に満喫していただければと思います。

結びに、本大会の開催に向けて、御支援、御尽力いただいた関係者の皆様に深く敬意を表しますとともに、大会の御成功と選手の皆様の御活躍を心から祈念申し上げ、歓迎の挨拶といたします。



鳥海国立公園
観光開発協議会会長
遊佐町長
時田 博機

「鳥海山 SEA TO SUMMIT®2019」に全国各地から参加された皆様、ようこそおいでくださいました。環鳥海の自治体3市1町を代表し、心より歓迎申し上げます。

鳥海山は日本海からそびえ立つ独立峰で、潮風薫る海岸や実り豊かな平野からは秀麗な山容が見渡せ、また登山道の各所からは雄大なパノラマとなって日本海を眼下に見ることができます。まさに「SEA TO SUMMIT®」の名のとおり、海から里へ、そして山への自然の移り変わりや魅力を最も感じる山だと自負しております。この日本海から山頂に至るコースで、カヤック・自転車・バイクに挑む皆様が、この地域の魅力を全身で感じて楽しんでいただき、自然への感謝と感動があふれる大会にしていきたいと思います。

また現在、環鳥海の3市1町では、「日本ジオパーク」に認定された「鳥海山・飛島ジオパーク」の充実に向け「Touch!ふれる・楽しむ・好きになる」を合言葉に地域が一丸となって活動を進めています。ぜひ皆様からは、このエリアの魅力ある自然や文化・歴史のスポットを見て、ふれて、味わっていただき、より思い出深い大会にしていいただけたら幸いです。

最後に、この大会のために、特にご尽力をいただきました株式会社モンベルの辰野会長はじめ、佐藤香奈子実行委員長、ならびに多くのスタッフの皆様に敬意を表するとともに、さらに「SEA TO SUMMIT®」が発展することをお祈りし、歓迎の挨拶といたします。



秋田県にかほ市長
市川 雄次

「鳥海山 SEA TO SUMMIT®」が第9回を迎えられ、盛大に開催されますことを心からお祝い申し上げます。そして、全国各地からご参加いただきました選手の皆様を心から歓迎いたします。

本大会のコースは、日本海の海岸線から鳥海山の山頂までわずか16kmという世界的にも珍しい地形を活かしており、自然豊かで美しい景観を誇ります。選手の皆様におかれましては、平成28年9月に、にかほ市、遊佐町、由利本荘市、酒田市の3市1町が認定を受けた「鳥海山・飛島ジオパーク」の雄大な自然を全身で体感し、楽しみながらゴールを目指していただきたいと思います。

ジオパークの目的は、地域の皆様に関わり合い、自然環境を保全し、各分野で活用し、それを発信することにありますので、これからも3市1町が一丸となって活動を進めてまいりたいと考えております。

結びに、選手の皆様ならびに大会関係者の安全と大会の成功をご祈念いたしますとともに、本大会の開催関係各位のご尽力に深く感謝申し上げ、歓迎のご挨拶といたします。

鳥海山 SEA TO SUMMIT® 2019

開催要項

主催 | 鳥海山 SEA TO SUMMIT®実行委員会(事務局／NPO法人 元氣王国)

共催 | 山形県

後援 | 観光庁、スポーツ庁、環境省東北地方環境事務所、秋田県、山形県教育委員会、遊佐町、にかほ市、由利本荘市、酒田市、NPO法人遊佐鳥海観光協会、にかほ市スポーツイベント開催実行委員会、(一社)酒田観光物産協会、由利本荘市観光協会、鳥海山大物忌神社、(株)山形新聞社、(株)秋田魁新報社、(株)河北新報社、鳥海山飛島ジオパーク推進協議会、ジャパンエコトラック推進協議会

特別協賛 | 株式会社モンベル、マツダ株式会社

協賛 | 教えて!「かくれ脱水」委員会、日本ゴア株式会社、大山ハム株式会社、ナイトアイズ、日本航空株式会社、Be Protected Everyday、株式会社ビクセン、プロトレック、株式会社むそう商事、アリスト販売株式会社、株式会社ヤマップ、アソロ、アドベンチャーテクノロジー、バイオライト、フォッジルズ、ガーバー、グレイル、ヘリノックス、ヒューマンギア、ジェットボイル、クビルカ、NRS、パーセプション、ラフウェア、トランゴ、ライオット、鳥海国立公園観光開発協議会、酒田米菓株式会社、庄内風力発電株式会社、株式会社庄内環境エネルギー、加藤総業株式会社、ビット・パーク株式会社、鳥海温泉 遊楽里(順不同)

大会期日 | 2019年8月31日(土) - 9月1日(日)

会場 | 8月31日 象潟公民館(大会受付・開会式・環境シンポジウム)
9月1日 西浜海岸(スタート)、鳥海温泉 遊楽里(開会式)
【海のステージ(パドルスポーツ)】西浜海岸→吹浦港防波堤内2周→西浜海岸(約4km)
【里のステージ(バイク)】西浜海岸→駒止→鉾立駐車場(約21km)
【山のステージ(ハイク)】鉾立駐車場→御浜神社→鳥海山大物忌神社〔山頂御本社〕(約7km)

定員 | 先着300名(募集人数に達次第、受付を終了します)

参加費 | 【シングルの部】 税抜き料金¥10,500(税込¥11,340)
【チームの部】 税抜き料金¥10,500(税込¥11,340)×人数
【パラチャレンジの部】 税抜き料金¥10,500(税込¥11,340)×人数(健康者や伴走者を含めた総人数)
※参加費には〔環境保全協力金¥500〕を含む

参加資格 | ●シングルの部:高校生以上 チームの部:中学生以上
●健康な方で、参加者全員分のパドルスポーツ装備(パドル・ライフジャケット・フラッグの装着を含む／SUPの場合リーシュコード必須)、自転車装備(ヘルメットを含む)、水分補給のための給水用装備を用意できる方
●大会事務局より大会参加承認を受けた方
※病弱、心臓に障害のある方は参加できません。※高校生以下の参加には保護者の同意が必要です。※年齢は大会当日を基準とします。

日程 |

8月31日(土)

【会場】西浜海岸
11:00～14:00 カヤック・自転車搬入

【会場】象潟公民館
14:00～15:30 大会受付
15:45～16:00 開会式
16:00～17:10 環境シンポジウム(→詳細P.8)
17:15～18:00 大会説明

9月1日(日)

【会場】西浜海岸
5:00～5:30 参加者集合
5:30～ 大会スタート

【会場】鳥海温泉 遊楽里
17:00～ 閉会式・抽選会
18:30 終了
※天候およびコースの状況により変更になる場合があります。

制限時間 | ●10:30までに御浜神社(登山コース約3.5km地点)
●11:10までに七五三掛(登山コース約5.0km地点)
●13:00までに鳥海山大物忌神社にフィニッシュすること
(10:30までに御浜神社にたどり着けなかった参加者は、御浜神社にて棄権とする)

※詳しくは次ページの地図をご覧ください。

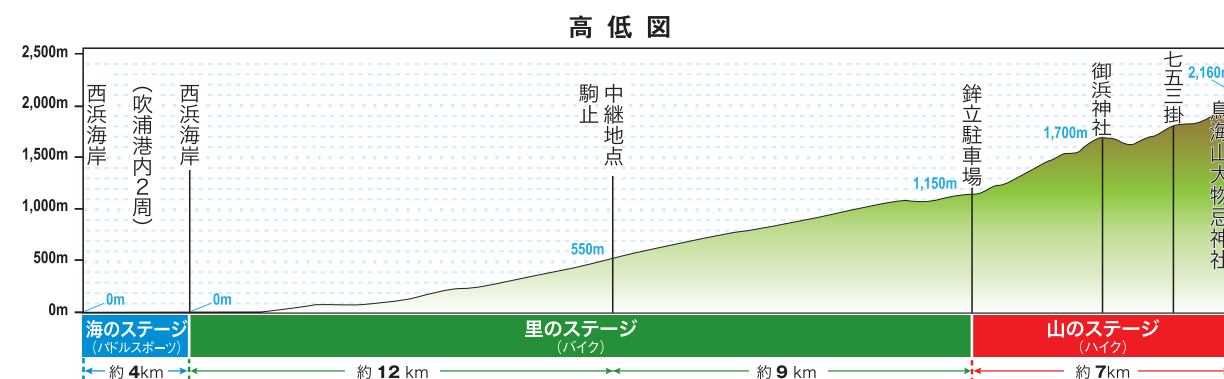
9月1日 日

大会コースとチェックポイントのご案内です。応援ポイントなどもご紹介しておりますので、ぜひ参考にしてください。

鳥海山大会のコースマップ (協力：株式会社ヤママップ) **YAMAP**

コースや主要ポイントを網羅した大会専用地図が、YAMAPアプリにて無料でご利用いただけます。

※事前にYAMAPアプリをダウンロードし、会員登録のうえ、ご利用ください。

<https://yamap.co.jp/map/6644>

39.0670°N 139.8727°E

西浜海岸
(大会スタート地点)

【応援目安時間】5:30-7:00

39.0132°N 139.9529°E

駒止



【応援目安時間】6:30-8:30

応援ポイント

大平山荘



【応援目安時間】7:00-10:00

39.1219°N 139.9905°E

鉾立駐車場



【応援目安時間】7:30-10:30

39.0670°N 139.8727°E

御浜神社

※選手交代はありません



【応援目安時間】9:00-10:30

39.0976°N 140.0487°E

鳥海山大物忌神社
(山頂御本社)

【応援目安時間】11:00-13:00

※天候およびコースの状況により変更になる場合があります

チェックポイント ★ エイドステーション 応援ポイント トイレ 多目的トイレ 自転車メンバー交代可能地点 P 駐車場

mont・bell

株式会社モンベル
https://www.montbell.jp/総合アウトドア用品メーカー。「FUNCTION IS BEAUTY (機能美)」
「LIGHT & FAST®」をコンセプトに、高機能な登山用品、アウトドア用品
の開発・製造・卸・販売を行っています。

mazda

マツダ株式会社
https://www.mazda.co.jp/私たちマツダは、人々に人生の輝きを提供し、地域・社会との共存に挑戦し
続けます。技術開発長期ビジョン「サステイナブル“Zoom-Zoom”宣言
2030」に基づき、「地球」「社会」「人」とクルマが共存する世界の実現を目指
し、「走る歓び」にあふれたカーライフを通じて、お客さまの人生をより豊かにし、
お客さまとの間に特別な絆を持ったブランドになることを目指してまいります。

humangear™

ヒューマンギア
http://www.humangear.com/「ゴーバイト」や「ゴートゥープ」など、アウトドアやトラベル・
シーンを快適にする、シリコーン製容器や、丈夫で軽量なカ
トラリー・シリーズなどユニークなアイテムを取りそろえた、ア
メリカ発のブランドです。JETBOIL®
ジェットボイル

https://www.jetboil.jp/

アメリカで数多くの賞をおさめた、アウトドア用調理器具ブ
ランド「ジェットボイル」。保温クッカーと熱効率の高いストー
ブがセットになった、簡単便利・軽量・コンパクトな製品を生
み出しています。

KUPILKA

クピルカ
https://kupilka.fi/ja/フィンランド生まれのクピルカは「小さなカップ」という意味を
持ち、自然と手になじむようにデザインされています。耐久・
耐熱性に優れ、お手入れも簡単。アウトドアに最適です。

RUFFWEAR

ラフウェア

https://www.ruffwear.jp/

人と犬と一緒にアウトドアを楽しむための犬用アウトドア・
ブランド。品質、機能性、そして安全性を備えた商品は愛犬
家にとどまらず、災害救助犬の現場からも高い評価を受け
ています。教えて!
「かくれ脱水」委員会教えて!「かくれ脱水」委員会
http://www.kakuredassui.jp/深刻な脱水状態の一手前を「かくれ脱水」と名づけ、脱
水に対する正しい知識と予防方法・対処方法を伝えています。
私たちは、深刻な脱水状態を防ぐことで熱中症で搬
送される人をゼロにしたい。GORE-TEX
PRODUCTS日本ゴア株式会社
http://www.gore-tex.jp/耐久防水性、防風性、透湿性を併せ持つ機能性素材
GORE-TEXファブリックスの製造メーカー。GORE-TEXブ
ロダクトは、気候の変化から体を守り、アウトドアでの活動を
より快適なものにします。大山ハム
DAISENHAM大山ハム株式会社
http://www.daisenham.co.jp/2013年ドイツ農業協会(DLG)主催国際品質競技会金賞
受賞の「カントリーロースト(スライス)」を中心に、丹念に造り
上げたハム・ソーセージ・ベーコンを食卓にお届けします。

NRS

エヌアールエス
https://www.canoeing.jp/1972年に創業。「究極の実用性」をコンセプトに、快適性
や利便性を考えた製品を製造。インフレーターSUPやバ
ドルなどを展開しています。

TRANGO

トランゴ
http://www.trango.co.kr/ユニークかつ高品質の商品が世界中のクライマーから注
目を集めるクライミングブランド。カラビナなどのクライミング
用品を取り扱っています。Riot
kayaks

ライオット

https://www.canoeing.jp/

1996年、カナダ・モントリオールで生まれたカヤックブラン
ド。ツーリングカヤックからホワイトウォーターカヤックまで幅
広く展開し、さまざまなフィールドでパドルをサポートしてい
ます。

鳥海国定公園観光開発協議会

鳥海国定公園観光開発協議会
http://www.chokaizan.com/鳥海国定公園およびその周辺地域の観光振興および
観光資源の保護に関する施策を推進しています。NITE
IZEナイトアイズ
http://cmoon.biz/ロッキーマウンテンの麓、コロラド州ボルダーで1989年
の創業以来、日常生活からアウトドアまで、よりシンプルに、よ
り安全に、そして少しでも皆が楽しめるような商品を開発し
続けています。

JAL

JAPAN AIRLINES

日本航空株式会社
https://www.jal.com/ja/「世界で一番お客さまに選ばれ、愛される航空会社」を目指
し、一人一人のお客さまへのおもてなしの心を大切に、世界
に先駆けた挑戦を重ね、常に新しい価値を創造しています。Be
Protected
EverydayBe Protected Everyday
http://cmoon.biz/「香りを楽しむ虫よけ」天然由来の虫よけに消臭効果とフ
レグランスをプラス。日本製でディート不使用。子供から大人
まで安心してお使いいただけるオールインワンスプレーです。

むそう商事

株式会社むそう商事

http://www.muso-intl.co.jp/taste_of_nature.php

オーガニック食品・原材料の輸入卸売業。サクッと歯ごたえ
の良い玄米パフとナッツにドライフルーツの酸味がクセに
なる美味しさ「オーガニックフルーツ&ナッツバー」を提供し
ています。

酒田米菓 株式会社

http://www.sakatabeika.jp/

昭和26年創業から米菓を主軸としたスナックメーカーとし
て、東北を中心にせんべい商品を提供してまいりました。酒
田米菓株式会社は、「SEA TO SUMMIT®」を応援しま
す。

鳥海温泉 遊楽里

自然と温泉・まるごとひと里

鳥海温泉 遊楽里
https://www.yamagata-yurari.com東には独立峰「鳥海山」、西には「日本海」。自然に囲まれ
ながら、鳥海温泉「遊楽里」がお出迎え。登山やアウトドア
スポーツの後は、温泉と美味しい料理が皆様の疲れを癒
してくれます。

Vixen

株式会社ビクセン
http://www.vixen.co.jp/ビクセンは60年以上にわたって、双眼鏡、天体望遠鏡、
ルーペなどを製造している光学機器のメーカーです。レンズ
越しに広がる美しい星空や、新しい眺めを、より多くの人に
楽しんでいただきたいと願っています。

PRO TREK

プロトレック
http://protrek.jp/いかなる状況下でも、すばやく自然を感じる本格アウト
ドアとしてのユーザビリティを追求し、常に進化を続ける
時計ブランドです。さまざまなフィールドへの挑戦をプロト
レックがサポートします。

YAMAP

株式会社ヤママップ
https://yamap.co.jp/国内最大級の登山・アウトドアアプリ「YAMAP(ヤマ
マップ)」。コースや主要ポイントを網羅した大会専用地図が、
YAMAPアプリにて無料でご利用いただけます。ルート確
認や思い出の記録にご活用ください。

ASOLO

アゾロ

https://www.asolo.jp.net/

革新的で高機能なマウンテンアタリング・シューズを世界に
先駆けて生み出し、世界のアウトドア用フットウェアをリード
し続けているイタリアのフットウェアブランド。

BioLite

バイオライト

https://www.biolitestove.jp/

ガソリンなどの化石燃料を使わなくても、強力で安定した焚
き火ができ、さらに発電も可能という画期的なキャンピング・
ストーブを開発。ソーラーチャージャーやライティンググッズ
など、電気のカでアウトドアをもっと快適にします。

Fozzils

フォジルス
https://www.fozills.com/“Think flat. Pack flat.”をブランドコンセプトに軽量・コン
パクトな折りたたみ式食器(カップ、ディッシュ、ボウル)を開
発しています。

GRAYL

グレイル

https://www.thegrayl.com

アウトドアにおいて安全な水を素早く確保できる浄水ボトル
ブランドです。

Helinox

ヘリノックス

https://www.helinox.jp/

優れた強度と柔軟性を持つアルミニウムポールを採用した
超軽量・コンパクトなチェアやテーブル、コットなど、革新的
なアイテムを生み出すアウトドア・ファニチャーのブランド
です。

GERBER

ガーバー

https://www.gerbergear.com

アメリカ・オレゴン州ポートランド生まれ。フォールディング
ナイフからマルチツールまで幅広い種類のナイフを製造し
ています。